

第 9 2 回 病 診 連 携 委 員 会 要 録

日 時 令和元年8月26日(月)午後7時45分

場 所 浪速区医師会 会議室

出席者 裏面

今回は、大阪医療センターの大西先生が初参加、また、浪速消防局の牧野さんにもお越しいただき開催した。

議 題

1. 第91回病診連携委員会報告について(資料1)

前回委員会での議事内容の報告と確認を行った。

2. 浪速消防署からの報告について(資料2)

牧野さんの感想としては、ブルーカードで受診を依頼されたことがほとんどなく(1件ある)、しかし患者からかかりつけと言われても病院に断れるケースはないとのこと。

よって今回の結果に反映されていない可能性もある。実際にはブルーカードを持っていないかもしれないが、提示されていないことも考えられる。平成27年度には21件が7件に減っているものの、100%の搬送率になっている。ケアマネ、ヘルパー等の介護職のブルーカードの認知が徹底されていないように思う。救急隊はそこまで必要としているわけではない。また、オリオンの実働があつてから、ここ1、2年は救急搬送所要時間は、右肩下がりになり始めた。(オリオンのバージョンアップをしてから特に)。

浪速区内の救急車が全部で5台に増台している。しかし出動回数は多く、頭打ちでこれ以上救急件数が増えそうなわけではなさそうとのことであった。

3. ブルーカードの更新と更新期限について

【愛染橋病院】

3月に電カルが入ったので、ブルーカードの情報を電カルに取り込んでいると。更新がなければそのままにしている。夜間に使用する可能性はあるが、日常は紹介状で対応できている。薬剤情報は直接電話などで聞き入れていることが多い。

【なにわ生野病院】

電カルにブルーカード情報を取り込んでいるので確認はすぐできる。

夜間は紙ベースのものを見るよりもPC上で見る人が多いと考えられる。

【富永病院】

電カル上に取り込んでいる。開くとすぐにわかるようになっている。

夜間もPC上での検索が通常。

【思恩病院】

アナログベースではあるが、登録はしているので、IDをたたくとブルーカード登録がわかるようになっている。医師にも周知できていると考えている。登録情報はそのまま継続している。

【大手前病院】

ブルーカード登録はされていないので、まだ現状話は進んでいない。

【育和会病院】

1名だけ登録されている。昨年当直医がスポットで入っていたため、気づかずに断ったことがあったがその後、受診することができるようになったとのこと。

【大阪医療センター】

電カルに取り込んでいるので、IDを入力するとすぐにわかるようになっている。しかしブルーカードを利用した受診ではなく、普通の受診があつたが、結果、入院となったとのこと。独居の方には情報が盛り込まれているので、有効に利用されるのではないかと考えられる。

大西先生からは各地域がそれぞれ独自の取り組みをしているのは広域で医療情報共有する場合、かなり障壁が大きくなるのではないかと、どこでもMy病院を例に上げ危惧さ

れていた。

【大阪警察病院】

電子カルテに取り組んでいる。ID検索すると下にブルーカード登録がされていることがわかるため、断ることがなく受診していただいていると。

【第2警察病院】

付箋をつけているので間違えることがないと。電カルにも取り組んでいる。

【山本第三病院】

電カルに取り込みかつ紙ベースでも閲覧できるシステムを作っている。

紙媒体はあくまでも地域連携が利用している。

【朋愛病院】

ブルーカード用の別ファイルがあるので、当直医がそれを見られるようにしている。

分冊しているので、3か所で見られるようになっており、断らないようにしている。

また施設にも声掛けをして現状変化があれば早めに教えてもらうようにしているとのこと。

【四天王寺病院】

紙ファイルで、各部門がわかるようにしているとのこと。

当院はブルーカードの二次登録である。

【大野記念病院】

他の病院とほぼ同じような感じで取り扱っている。更新時期を設けているが、それを過ぎたからと言って特に変わったりはしていない。また、いろいろと紐づけて断りにくい状況を作り出していると。ブルーカード登録であることを見逃されていることは少ない。

小畠先生は患者の病状に変化がないので更新ができていない。

久保田先生からは、あまり変化がなければ1年更新でなくともよいのではないのではと意見があった。いずれ、ボタンでPCから更新申請できるよう検討している。実際のところ手間がかかり、更新を依頼してもできない医師も多いのが現状である。

また、久保田先生からの提案で、ブルーカードは緊急時のカードであるが、それだけの使用ではもったいないのではと。通常の外来通院でも使用できるようになれば良いのではないかとの意見もあった。

4. ブルーカード登録数について

本日現在の登録件数	浪速区 577 件	他地区 60 件
本日現在の使用状況数（延べ）	浪速区 676 件	他地区 49 件

5月28日から本日までのカード動向			合計 126 件	
新規 18 件	更新 70 件	入院 6 件	他入院 0 件	帰宅 1 件
中止 4 件	死亡 7 件	退院 5 件	連携入院 0 件	受入不可 2 件
通院無 1 件	かかりつけ医変更 7 件		登病変 3 件	転院 2 件

5. その他

今後の課題として、他地区にも同じようなシステムがあり、それらが交流できるわけではない。先週末に大阪大学医療情報学部より医療情報銀行を利用したブルーカードの構築を検討してみたいと実証実験の依頼を受けた。最低限の医療情報のやり取りであり、個人情報情報は流れないようにするが、今後ブルーカードの追加承諾を予定している。基本的に参加していく方針である。

令和元年度 会議開催予定

5月27日・8月26日・11月25日・2020年2月17日（すべて月曜日・原則午後7時45分開始）